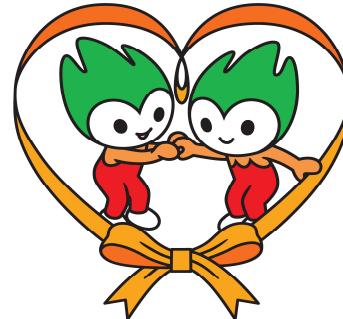




令和 2 年度認知症セミナー

# オレンジパワー活用セミナーについて ～認知症本人のメッセージとともに～



山口県PR本部長「ちょるる」  
認知症施策【支え合いリボン】

山口県健康福祉部  
長寿社会課地域包括ケア推進班  
保健師 橋本佳子

# 山口県の概況

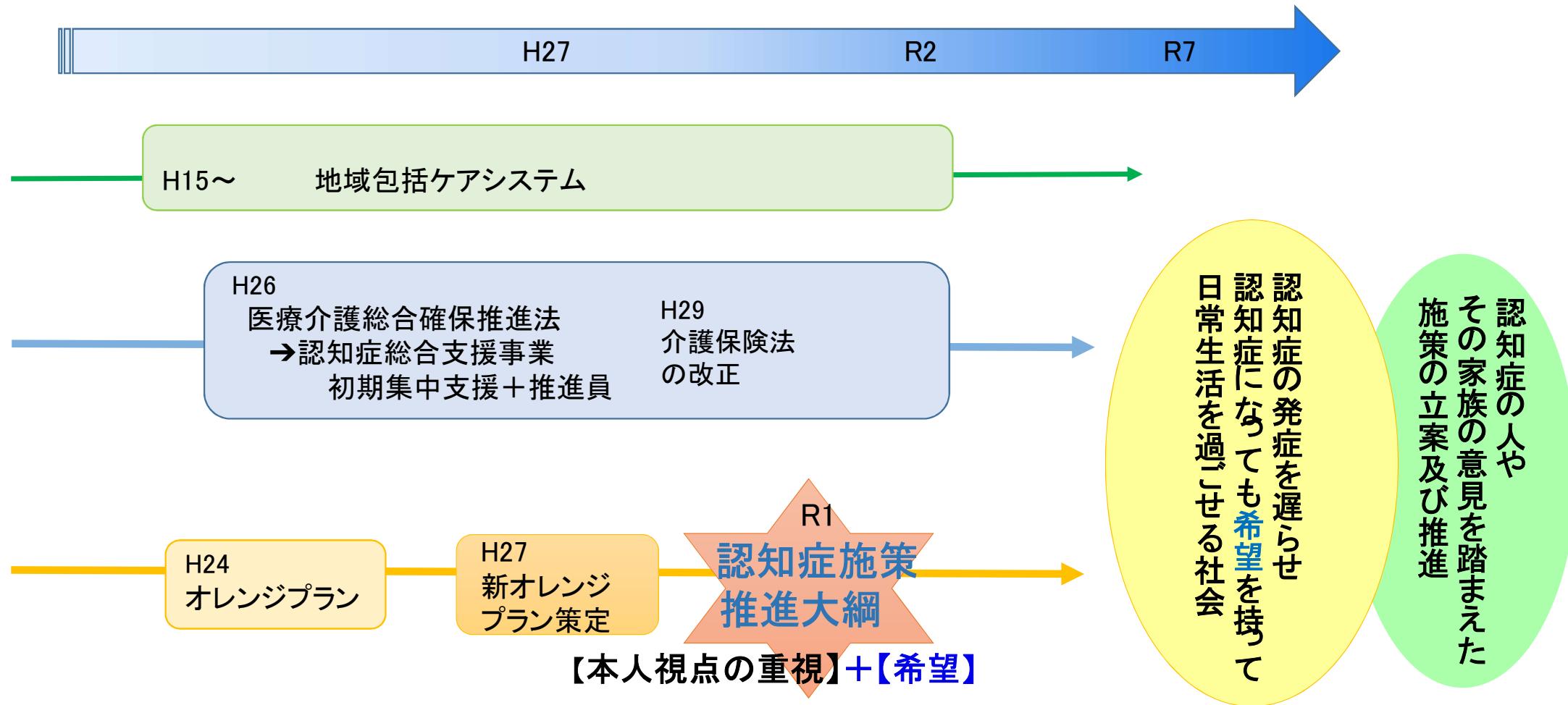


推計人口：1,358,336人（全国27位）  
高齢化率：34.3%（全国3位）  
（令和元年10月1日時点）  
県内市町数：19市町  
地域包括支援センター：60カ所  
認知症地域支援推進員：99名  
認知症カフェ：106カ所  
（令和2年3月31日時点）

中国・四国地方全図



# 国の認知症関連施策



# 山口県の認知症施策

## ◆ 「第六次やまぐち高齢者プラン」（H30.3策定）



認知症に関する理解促進

- 啓発活動の実施(9月)
- キャラバン・メイト・認知症サポーターの養成

容態に応じた施策の推進

- 早期の発見・診断・対応
  - ・認知症サポート医の養成
  - ・かかりつけ医・薬剤師・歯科医師向け研修の開催
  - ・認知症初期集中支援チームの支援
- 認知症の初期から後期までの各段階に応じた適切なケア
- サービス提供体制の充実・強化
  - ・認知症疾患医療センターによる早期診断等の環境整備
- 地域の実情に応じた医療・介護サービスの円滑な連携の推進

# 山口県の認知症施策

## ◆ 「第六次やまぐち高齢者プラン」（H30.3策定）



若年性認知症の人に対する支援

- 早期発見・診断及び相談体制の整備
  - ・若年性認知症支援コーディネーターの配置
- 関係機関の連携による支援体制の充実
- 本人の居場所づくり
  - ・若年性認知症の人のための認知症カフェ

本人・家族への支援と地域づくり

- 認知症の人と家族を支える地域づくり
  - ・認知症コールセンターの運営
  - ・認知症地域支援推進員の活動支援
- 地域の実情に応じた見守り体制づくりの促進

# オレンジパワー活用セミナーの誕生まで

認知症の人やその家族の意見を踏まえた施策の立案及び推進・本人発信支援…できたら、本人にも市町にもきっと、いいよね！！

これまで、認知症の人やその家族の気持ちになって、企画してたけど……

直接、本人に聞く？

どんな方法で？どんな風に？

認知症の人はどこにいるの？

市町は、できているの？

県のすべきことは？

市町にとって、  
何が必要？  
市町に直接、  
聴いてみよう！



## 【市町からの情報】

- 本人への支援の調査  
：18/19市町で個別支援が主
- 忙しくて、仕事は増やせない
- 最新の情報を得る機会がない  
【県として考えたこと】
  - ◆これまでの人才培养で、知識のある人材は地域にいる
  - ◆地域の同職種・同職場内で、120%頑張っている
  - ◆認知症の疾患特性上、サポートは必要
  - ◆県の長所：広域に対応

★現場に負担なく導入  
★仲間づくり  
★発見や学びの共有

# オレンジパワー活用セミナー



認知症施策【リボン&ハート】

# 企画にあたり考えたこと

オレンジパワー活用セミナー

- 忙しい中で、職場で考える時間を確保するのは大変！  
その場で考えて、現場に帰ってそのまま活かせる内容のセミナーにしたら…
  - ➡ ✨ 毎回、段階的なグループワークを実施
  - ✨ 参加者は少ないかもしれないけど、複数回コースで…3回
- 1人では難しいことも、仲間がいれば続けられる力になるかも！？
  - ➡ ✨ 2人1組で…  
できれば、違う職場、職種だったら、新たな出会いになる
- 学んで終わりではなくて、得られたスキルや情報を共有できたら
  - ➡ ✨ 3回目は活動を紹介しあって、工夫点などを共有



# 1 目的

オレンジパワー活用セミナー

認知症施策に携わる誰もが、認知症の人の視点に立ち、  
認知症の人やその家族の意見を踏まえて施策を推進する

## 具体的目標

- ・本人視点を活かした施策の重要性や手法を学ぶ
- ・現在の業務の中で、本人視点を得られる機会を発見する
- ・仲間がいることに気づく
- ・学びや発見を共有することで、効率よく展開する



## 2 対象

オレンジパワー活用セミナー

ともに活動できるパートナーと2人1組 ※原則3回参加

市町認知症施策担当者  
&  
認知症地域支援推進員

例えば…

認知症疾患医療センター相談員  
&  
認知症の本人

認知症地域支援推進員  
&  
認知症カフェ関係者

市町認知症施策担当者  
&  
隣市町の認知症施策担当者

認知症地域支援推進員  
&  
認知症介護指導者

### 3 申込状況

オレンジパワー活用セミナー

18組（36人）

認知症施策における役割	職 種	認知症施策における役割	職 種	数	
市町認知症施策行政担当者	(保健師)	×	認知症地域支援推進員	(作業療法士等)	8組
市町認知症施策行政担当者	(保健師)	×	家族会会員		2組
市町認知症施策行政担当者	(保健師)	×	認知症キャラバン・メイト	(介護福祉士)	1組
市町認知症施策行政担当者	(保健師)	×	保健所認知症施策担当者	(保健師)	1組
認知症地域支援推進員	(看護師)	×	施設職員	(介護福祉士)	1組
認知症地域支援推進員	(作業療法士)	×	認知症介護指導者	(社会福祉士)	1組
認知症疾患医療センター相談員	(公認心理師)	×	若年性認知症支援コーディネーター	(精神保健福祉士)	1組
認知症疾患医療センター相談員	(精神保健福祉士)	×	保健所認知症施策行政担当者	(保健師)	1組
認知症疾患医療センター相談員	(精神保健福祉士)	×	認知症疾患医療センター相談員	(社会福祉士)	1組
保健所認知症施策担当者	(保健師)	×	隣の保健所認知症施策担当者	(保健師)	1組

## 4 内容：全体

### オレンジパワー活用セミナー

回	日 時	内 容	グループワーク テーマ
第1回	R1.5.24 (金) 13:30～ 16:00	○認知症の <b>本人の視点</b> に立った施策について学ぼう  講演「 <b>本人の声を活かした小さな改善や取組を実践しよう</b> 」 講師：認知症介護研究・研修東京センター 永田 久美子 副センター長	①パートナーの強みや素晴らしいところ ②自分の強みや自慢できるところ ③講義を聴いて、今後 <b>大切にしたい</b> と思った点 ④今後、 <b>やってみたい</b> と思ったこと
第2回	R1.7.11 (木) 13:30～ 15:45	○本人の <b>実際の声</b> を聴いてみよう ～小さな改善や取組の連鎖を作り出そう～  ①若年性認知症の人からのメッセージ ②若年性認知症の家族からのメッセージ ③若年性認知症の人の就労先の上司からのメッセージ	①今後の活動で、 <b>大切にしよう</b> と思ったこと ②やってみたいことを <b>具体的に</b> 考えてみましょう 目標す姿・いつ・どこで・誰と・どのように…
第3回	R2.1.15 (水) 13:30～ 16:00	○実践からの気づきを <b>共有</b> しよう  実践した活動についての紹介等	

## 4 内容：第3回

オレンジパワー活用セミナー

- 18の活動紹介シートを綴った「活動紹介集」を作成  
➡ 山口県長寿社会課のホームページに掲載



- 各活動について、認知症の人からのメッセージを加筆して応援
- 4組のペアから、活動についての紹介



## 4 内容：第3回 活動紹介①

オレンジパワー活用セミナー

【「Happy Club」（本人ミーティング）】（美祢市行政担当&推進員）



### ハッピー クラブ Happy Club

仲間と一緒に、やりたいことをチャレンジ!!  
スポーツ、ウォーキング、料理、おしゃべり…などなど  
活動内容は、参加者の皆さんと一緒に考えていきます  
これから、よりよい日々の為に  
心と体の元気を維持していきましょう（見学からOK）

毎月第1金曜日  
10:00 ~ 12:00

場所：美祢市勤労青少年ホーム  
(美祢市大嶺町東分 285 番地 1)



※活動内容により日時の変更がある場合がございますので  
ご了承ください。

おまちしています

お問い合わせ  
美祢市地域包括支援センター  
(高齢福祉課 15番窓口)  
☎ 0837-54-0138



やってみて、  
よかったです  
(結果や学  
び)

まだ思いを語る場にはなっていませんが、一緒に身体を動かし、笑い合える場になっていると感じています。サービス利用に至らない空白の期間の方が利用できる事業として、形になったことは良かったと思います。

認知症の人からのメッセージ

- ・いい取り組み
- ・ネーミングに認知症が入っていないのがいい
- ・認知症という言葉に抵抗がある人もいると思う
- ・近くの方が参加しやすい
- ・同じ病気の仲間だと安心

## 4 内容：第3回 活動紹介②

オレンジパワー活用セミナー

【出張形式による認知症カフェ】（周南市行政担当＆キャラバン・メイト）

やってみて、よ  
かったこと  
(結果や学び)

関わったメンバーからも「今後、同じような取り組みが他事業所でも試みてもらえた  
ら良いのでは」との意見もあり、認知症カフェの“運営をどうするか”ではなく“本  
人とその家族のためにどうするか”を再認識するきっかけとなった。本人や家族の樂  
しそうな様子も伺えたため、関わったメンバー全員の小さな成功体験になったと感じ  
る。



認知症の人からのメッセージ

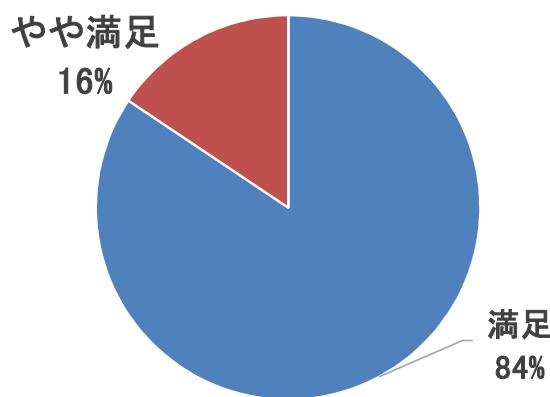
- ・嬉しいサービス
- ・発想がいい！
- ・いいですね！ホームパーティみたい
- ・認知症のことを理解している、説明できる人が  
訪問してくれることの効果は大きい
- ・特別なこととしないで、どんどんやってほしい

## 5 評価：アンケート集計

オレンジパワー活用セミナー

### 【全3回を通じての満足度】

回収率100%



### 【自由記載から】

- 知識を得ることとともに、仕事への熱意や意欲もかきたてられるとても力をいただくセミナーでした。
- 今後もこの講座を続けて欲しい。今回の受講者も参加させて欲しい。
- 事業を「継続」する、やろうという気持ちを「持ち続ける」ことが一番大切。色々な立場の人でアイデアを出し合い、助け合える関係を構築できる場としてセミナーの企画よかったです。
- 当事者の方の声を大切にしていきたいと思った。
- 活動紹介に対して各機関毎に認知症の人からのメッセージはとても心に届くものとなりました。

ここで、  
セミナー2回目の一部を  
再現



認知症施策【オレンジハート】

## 認知症の人からの私たちへのメッセージ

このセミナーで出会い、私たちに送ってくださった  
認知症の人からのメッセージを綴っています。



# まとめ

## 目指す目標は一緒

認知症の人も、市町村も、県も、国も、みんな  
目指す目標は一緒！  
どこの場でも、お互いの長所を活かして、交わって、地域特性に応じた自分たちのふるさとを創ろう！

## プラスの循環を発見

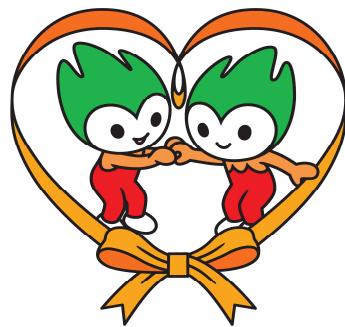
認知症の人に教えを受けたら、力までもらつた。市町に認知症の人の力(言葉)を紹介したら、セミナー参加者が元気になった。その場を共有した認知症の人も元気になった。

## 情報提供・共有の重要性を再確認

認知症施策は、まだまだ進化中。  
だからこそ、広域的な視点での情報提供や共有が大切！  
市町村や県にしかできない大切なこと…

# 御静聴 ありがとうございました。

山口県PR本部長「ちよるる」 認知症施策



【支え合いリボン】



【オレンジハート】



【リボン&ハート】